



すべての視力障がい者に福音を！ キリスト教良書を！

ホ・ロゴス

2018年10月
55号

ὁ λόγος

ホ・ロゴスとは、ギリシャ語で「言葉」という意味。英語に言い換えると“The Word”このタイトルは、静岡盲人伝道センター広報誌第2号(1969・11月発行)から使われ、ヨハネによる福音書の冒頭「初めに言(ことば)があった。言は神と共にあった。」から引用された。視力に障がいを持つすべての人に福音を、という熱い祈りが込められている。



維持会員募集中!

当センター事業の維持・継続のために、皆さまのご入会をお願いしています。維持会員への加入は、1ヶ月一口100円から受け付けます。詳しくはセンターへお問い合わせください。

魂の成長と変革のための センター

吉田 隆

(神戸改革派神学校校長・甲子園教会牧師)

昨年、宗教改革500周年の年に、思いがけず『五つの“ソラ”から「宗教改革」後を生きる』(いのちのことば社)という本を出版しました。同社のスタッフ研修会での講演を本にしてくださったものです。

この小著に、当盲人伝道センターの青山理事長が目をとめてくださり「音訳をしたい」とお声がけくださったので、手元にあった出版用の原稿データを早速お送りしました。

間もなく音訳完了との連絡を受けたのですが、その数日後のことです。電話がかかってきました。細い低い声で「初めてお電話します。アラガキ・ツトムと申します…。どこかで聞いたことのあるような名前だと思ったら、あの新垣勉さんではありませんか!私はまだ仙台にいた時分、東日本大震災後の被災者支援活動の一環で何度かコンサートで御奉仕くださり、お世話になったのでした。

「先生がお書きになったあの『五つの“ソラ”から』という本がとても良かったので、忘れないうちにお電話しました」とのことでした。わざわざ御丁寧にお電話をくださったことにも驚きましたが、盲人伝道センターの働きとはこういうことかと認識を新たにさせられた出来事でもありました。

目の御不自由な方は、こうして点訳や音訳等のプロセスを経て初めて、書物に接することができるのだという当たり前の事実。そして、そのようにセン



ターの蔵書に加えられる“新刊”を今か今かと待っておられる方たちがおられるということも。

私の拙著も、そうしてリストに加えられるやいなやお読みくださったのでしょうか。語り口調で書かれた書物だったので、かえって読みやすかったのかもしれませんが。ちなみに、新垣さんは、神学の勉強をほとんどこのセンターの書物で(ということは改革派関係の神学書で)学ばれたとのことでした。

※

「メディア・リテラシー」という言葉があります。インターネットを始めとするコンピューター等の様々な技術を利用して、その情報を活用する能力のことを指しているようです。

昨今の技術革新のおかげで、特に障がいを抱えている方々へのサポート能力が(未だ不十分とは言え)著しく向上したことは、周知の事実です。これは本当に天からの恵みであろうと思います。

当センターの技術と、それをを用いて利用できる書物へと整えてくださっている皆様の御苦労が、多くの人々の魂の成長と変革のために用いられますように心より願っています。

静岡キリスト教育人伝道センター広報誌「ホ・ロゴス」第55号

2018年10月発行

発行人：青山昭一郎 印刷：ワークホーム聖恵

発行：静岡キリスト教育人伝道センター

〒422-8041 静岡市駿河区中田一丁目5-21

Tel 054-285-0496 Fax 054-285-0746 振替 00870-2-7003

Eメール：shizumouden@dct7.net HP：http://www.dct7.net/

開館時間：祝日等を除く月曜日から金曜日 午前9時～午後5時

センターはこんな働きをしています！

静岡キリスト教盲人伝道センターは、キリスト教図書専門の点字図書館です。視力に障がいのある方、また高齢や病気等で活字での読書が困難な方々のために、点字図書・録音図書の製作と貸し出しを行っています。インターネットの点字図書館・サピエ図書館に加盟し、製作完成データを提供しています。

トピックス

■「新聖書注解」

全巻デジター図書完成！

1970年から1977年にかけてのいのちのことば社より出版された、この「新聖書注解」は、原語からの釈義を基に神学の学びに欠かせない注解書として今も人気があります。多くの方からリクエストをいただいていた。ようやく全巻のデジター編集が完成。どうぞご利用下さい。

■テキストデジターを

アップしました！

昨年よりテキストデジターに取り組んでいます。今までに2タイトルをサピエ・ネット図書館にデータアップしました。CD合成音声版でも貸し出ししています。

『五つの“ソラ”から「宗教改革」後を生きる』
吉田隆著（いのちのことば社）

『しなやかな心で生きる』

榎原寛著（いのちのことば社）

■テキストデジターとは？

テキストデジターとは、電子テキスト（文字列）のみを構造化したデジター図書（アクセス可能な情報システム）です。テキスト（文字）を合成音声で読み上げたり拡大することもできます。一般の電子書籍の読み上げとは異なり、音声デジターと同様に、レベルやページをつける編集をします。当センターでは、主要なキリスト教用語に関しては、合成音声でも違和感なく聞こえるように手を加えて修正しています。

例えば、「主イエス」の「主」はそのままだと「ヌシ」と読み上げますが、編集時に「シュ」と修正します。

■表彰 おめでとうございます！

音訳 吉田京子様

デジター編集 外岡多美枝様

鉄道弘済会による第48回朗読録音奉仕者感謝の集い（東海地区）にて、朗読地区表彰に吉田京子様、デジター編集奉仕者賞に外岡多美枝様が受賞されました。



神さまの愛を知るために

「愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。」
(1ヨハネ4：7)

昨今、子どもや障がい者、お年寄りなど弱者への虐待や犯罪が横行しています。そんな時代だからこそ、私たちは神さまの愛に目を向けましょう。

◆『十戒に込められた神の愛』

古川第一郎著（2004年、いのちのことば社発行）CD1枚、点字3冊

守れないから自分はダメだと思い込んでいる人も多い「十戒」。その思いが“厳しい戒め”から“天のお父様の愛のメッセージ”に変わります。悩めるクリスチャンにむけて、著者からの愛情あふれる一冊。

*古川第一郎（1949-2008）：元日本キリスト改革派南越谷コイノニア教会牧師、キリスト教カウンセラー。ご自分も透析をしながら多くの悩める魂に慰めと癒しを送り続けた。



◆『カルバリの愛を知っていますか』

エミー・カーマイケル著（2004年、いのちのことば社発行）CD1枚、点訳中

本当の愛の意味は何か理解するため、そしてその愛に生きることに役立つ断想。

*エミー・カーマイケル(1867-1951)：主にインドで婦人宣教師として働き、学校や孤児院なども創設した。このほかに、『やみを照らすともしび』『主の道を行かせてください』『ミモサ』等の著書がある。

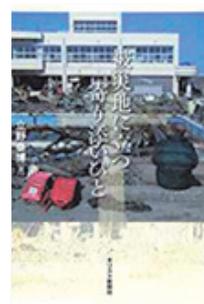


◆『被災地に立つ寄り添いびと』

立野泰博著（2014年、キリスト新聞社発行）点訳5冊

「となりびと」は「よりそいびと」。東日本大震災・救援活動の中で共に寄り添った活動の記録。

*立野泰博(1960-)：日本福音ルーテル教会牧師。教団事務局長の時、東日本大震災が起こり、リーダーとして被災地支援活動にあたられた。



貸し出し希望の方は盲伝センターまでお知らせください

神さまのすばらしいみ業が

SHIGEHIRO UNO 宇野 繁博 さん

(インマヌエル彦根キリスト教会員・滋賀県立盲学校教師)



沖縄で妻と▶

25歳で失明、悲しみの中で

私は平成元年の25歳の時、目の難病により失明、人生に絶望しました。当時小学校の教員でしたが、これからはかわい子ども達といっしょに勉強することができないと思うと、胸が張り裂けそうでした。悲しみと辛さのどん底の中、毎晩、布団に入ると涙が滝のように流れました。私は最も不幸な人間であり、人生は不条理だと思いました。

そんな私の姿を見て、母も共に涙を流してくれました。母の涙は、私にとって大きな慰めでした。ある時、母が次のように言いました。

「繁博。おまえがもし、目が見えないためにどうしても生きていけないと思うなら、かあちゃんといっしょに死のうね」。

教会との出会い

父は私を近くのキリスト教会に連れて行って行ってくれましたが、神様を信じることはできませんでした。しかし、35歳の時人間関係の問題で、再度教会を訪ねました。その教会の牧師先生は、私の悩みを聖書のいう「罪」という言葉を用いて説明してくださいました。

「宇野さん。罪とは、自分を中心に生きることを意味しています。人間関係で悩んでいる宇野さんは、自分を中心に物事を考えていますね。それが罪なのです。それが人間関係を悪化させているのです。今日から、イエス・キリストを心の中心に迎えて人生を歩み始めませんか。豊かな人生が宇野さんに約束されていますよ」。

神さまのみ業を現わすために

(ヨハネ9章3節)

私は、それから聖書を読むようになり、教会へ通い、キリスト信仰を持ちました。

そして、クリスチャンの先輩が次の話をしてくれました。「聖書の中に次のような話があります。生まれつきの盲人を見て、弟子たちが『どうしてこの人は生まれつき目が見えないのですか。本人が罪を犯したからですか、それとも、両親が罪を犯したからですか』とイエス様に尋ねると、イエス様はこう答えられたのです。『この人が罪を犯したからでもなく、両親のせいでもありません。神のみ業がこの人に現れるためです』(ヨハネ9・3)。宇野さんのこれからの人生にも神様のすばらしいみ業が現わされますよ。神様であるイエス様に希望をもって」。

生きる勇気と喜びが心に

このことさえなかったら…。あのことさえなかったら…。といった泣きたくなるようなことは、誰の人生にもあるのではないのでしょうか。しかし、聖書の言葉は、失明し暗く悲しい私の人生に光り輝く希望を与えてくれました。生きる勇気と喜びが心にわき上がってきました。そして、母が生きているときに、前述の聖書の言葉を私が知っていたら「かあちゃん。僕の失明を通して、僕の人生にも、かあちゃんの人生にも神様のすばらしいみ業が現わされるよ。楽しみだね。」と伝えられたかったです。

盲人伝道センター 50周年記念感謝会のご案内

日時：2018年11月23日(金・祝日) 11時から15時まで

内容：記念礼拝／会食／

木村りえ・りささんのピアノ演奏(全盲の双子姉妹)／交わり

50年の歩みを感謝し、皆さまと主の恵みを賛美する集会を行います。どなたでもいらしてください。多くの方のお越しをお待ちしています。(参加希望の方は11月10日までにお知らせください)



キリスト教図書専門の図書館

蒔田麻耶（利用者・横浜市）

私は色々な図書館を利用している。その一つは点字図書館である。東京にある大きな点字図書館では登録だけではなく視覚障害者に必要な様々な用具を購入したりなどもしている。それから地域の公共図書館にも登録していて図書の貸し出しも受けている。最近はやサピエ図書館にも登録していて24時間好きなときに貸し出しを受けている。静岡の盲人伝道センターは其中でも一番小さい図書館だろうと思うが登録している。

私は牧師でも伝道師でもないけれども、子供のころから聖書を読むことにはとても貪欲なので、ことあるごとに点字の聖書を読んでいた。その当時、点字の聖書は1冊の単価は安かったけれども、全巻揃えとなると大きな本箱が必要だった。幸いにも私の家には置き場所があったので、まずは何がなくとも点字の聖書と思い祈っていたら、当時「いのちのことば社」と関わっていた信徒の方がくださった。それで点字データができるまで使用していた。最近はいPhoneを手に入れることができたので、これ幸いとばかりにYouVersionというアプリをインストールした。

私は長い間聖書を色々な訳で読みたいと思っていたが、そうすると何冊もの本を持ち歩いたりしなければならぬし、ましてや保存する場所も必要と思っていたが、iOS機器はそれらの問題を解決してくれた。YouVersionはアカウントを登録すればすぐに利用できるし、日本語口語訳から新共同訳までが利用できる。それから、あらゆる種類の言語に対応しているので、それらを切り替えて使えばいいのだからこんなにありがたいアプリはない。iPhoneは、視覚や聴覚に障がいのある人たちのために画面を読ませるVoiceOverやズーム機能や文字を拡大する機能などあるので、使えるようになるととても便利だ。

センターにはきつと眼に見えない働きが沢山あると思うが、それらをきちんと見ておられる方はイエス様だと私は思う。

主に導かれて

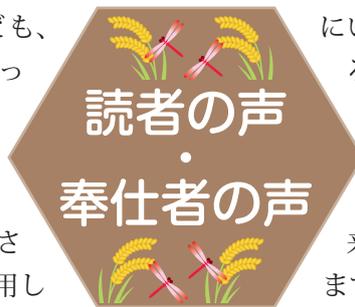
上原菊子（点訳奉仕者・石川県）

点訳を始めて40年近くになります。

ある時新聞で「音訳」なる仕事があることを知り、漠然と社会福祉会館へ行ってみました。そして最初に入ったのが偶然にも視覚障害者の部屋でした。居合わせた職員の方から、家庭の事情で長時間家を空けることが出来ない私の状況では、通信教育が可能な点訳をと勧められました。テキストの紙1枚を渡されて家へ帰ったものの、全く意味不明の文？らしきものが・・・電話で問い合わせたら、「左から読んでいるのでは？」（その頃は凹面読みで右側から読みました。）と云われて・・・、という状態からの出発でした。

それが今まで続けられたのは、いつも主が共にいて忍耐強く見守ってくださるからだろうと嬉しくなる時があります。時々私は役に立っているのだろうかと思うこともありますが、必要なら主が役立ててくださるのだからと全てを主に委ねて私の出来ることをさせていただきたいと願っています。

改めて、ご利用者の皆様、何かとご指導・ご迷惑をおかけしていますセンターの皆様、そして共に良い点訳をと努力しているボランティアのかたがたに、心からの感謝を申し上げます。



ベッドの上でデージー読書

橋本 徹（利用者・静岡市）

最初に借りたのは三浦綾子の『母』でした。学生のころ読んだものをもう一度読みたいと思うにもかかわらず本のページも捲れないぼくにはテイジーでの読書は朗報でした。遠藤周作の『沈黙』も借りたことがあります。これは自分にとっては特別な作品で従弟との卒業旅行に島原周辺を回るきっかけともなり、作中の踏絵も見ました。今年世界遺産にもなりましたね。デージーのおかげでベッドでの生活を強いられてもなお心豊かな日々を過ごしています。これからも好奇心の赴くままに沢山のものを読んでいきたいです。

*橋本さんは先天性脳性麻痺が進行して、ベッド生活を送っておられます。

編集後記

今年、センターは50周年を迎えます。献金で支えられた小さな図書館ですが、誠実にキリスト教の図書を積み重ねてきました。戦争中不発弾の処理をしていて失明され、主に救われた創設者故青山輝徳先生の「すべての盲人に福音を！キリスト教良書を！」という熱い思いが込められています。50年を経た今でも、その篤い思いは絶えることがありません。(S)

献金感謝報告 (2017年1月～2018年6月)

維持献金・ご支援献金を感謝いたします！

(大変申し訳ございませんが敬称・回数は省略させていただきます。)

【個人】青山昭一郎、青山鶴江、浅野紘二郎、芦川慶子、雨宮恵子、雨宮幸子、荒木孝夫・洋子、安食修、足立正範、飯塚光喜、家山和夫・恵子、家山光雄・節子、池田恵治、石丸新・重子、市原邦造・紀恵子、市村ケイ子、伊藤コウ、井上克世、井上都希子、稲垣宣子、稲垣正男、岩崎容子、岩瀬智子、植木正作、内海和子、江口真理、榎本嘉津代、遠藤純子、大下富士男、太田円三・禎子、大西弘子、大西雅廣、大場勝子、大林トヨ子、大森とし子、大山須美子、岡田孝、岡村秀昭、小川洋子、奥村史枝、奥山嗣夫・雅江、尾崎ミサ子、長田満、長村芳子、片岡啓子、勝山志づえ、加藤朝子、加藤照子、金子千鶴、金田知朗、上條きみ子、上原菊子、神尾千鶴、金慶熙、亀田功治、川上静子、川島伊作、川澄君子、木崎フサ子、岸江弘、儀間千之、木村正子、木村庸五、木村美子、経塚武、桑原健次、児島博、小谷和海・洋子、小林友子、小林トヨ子、小林芙美子、西條猷児、酒井敬子、坂部福代、佐々木義行、佐藤恵子、佐藤公義、佐野多恵子、三瓶忠克、塩坂多美子、汐沢はま、塩田隆良、重松一彦、重丸京子、篠崎友照、柴田美代子、島田悦子、島田充子、島野洋子、島袋正直、赤代安子、申弦周、杉澤貴美代、杉山清美、鈴木経子、鈴木俊夫、鈴木紀子、鈴木雅樹&瑞江、須田京子、諏訪知枝、諏訪三夫、善徳映子、添田信江、高岡茂子、高田徹・照美、高橋重子、高山弘子、竹熊有可、竹脇義果、田坂仁、多々良友彦、田中文人、田中雄二、玉置恵子、知久京子、知久与仁、月岡佳久、月岡米子、辻泰男、津田美知子、綱野悦子、津布楽幸八、鶴田道子、土肥規子、遠山信和・百合子、鳥飼富士夫、内藤洋子、永井直、中尾慎宏、中田真理子、長崎秀子、長渡研史、仲本宗秀、中山仰・啓子、西堀則男、西村永湖、西森統子、西山牧子、二村厚司、野口和子、野中稔史、野村純二、橋本克也、橋原ふみ子、長康弘、橋本進二・雅子、長谷川正一、長谷川了示、服部時久、服部たえ子、服部宣夫、服部真理子、羽野環、羽野浩雪、濱野直子、林真理子、林ヨエル、原宏、伴裕子、福田美津子、福原末男、二木良子、前田茂己・洋子、蒔田麻耶、正村和也、増田伸子、松井岳己、松浦和子、松本紳一郎、松本芙美、三神善樹、水野玲子、美田嘉信・早苗、三田村苗美、三矢よし子、宮坂和子、宮本博文、村岡真知子、村上暁子、村上裕一、村瀬光枝、望月明&鈴子、持田浩次、本橋恭代、八木久江、柳沼敏子、矢代由有、安田正之・愛子、矢野幸子、矢作正道、矢部美佐子、山岸とみ、山口俊郎、山口扶佐子、山崎公三、山崎久子、山崎ひとみ、山下タカ子、山下みや子、山田ふみ子、山中篤史、山梨和江、横田隆・みのり、横山米子、吉岡豊、吉川正子、吉田一一、吉田京子、吉田良行、蘆俊雄、渡井秀雄、渡邊公伸、渡辺のり子、矢板ホーリネス教会会員有志、犬山教会維持会員、江古田教会維持会員、高蔵寺教会維持会員、湖北台教会維持会員、坂戸教会会員有志&維持会員、静岡教会維持会員、千里山教会維持会員、宝塚教会維持会員、千城台教会維持会員、豊明教会維持会員、名古屋教会維持会員、瑞浪教会維持会員、南浦和教会維持会員、吉原富士見教会維持会員、匿名6名

【教会・団体】(AG)鳴尾キリスト福音教会、(仏マ礼)板橋キリスト教会、(沖縄ハフ連)ルア教会(改革長老)東須磨教会、(カトリック)島田教会、鳥栖教会、碑文谷教会、(神の教会)萩山神の教会、(基督兄弟団)一宮教会、横浜教会、(在日大韓)神戸教会、西新井教会、(シオ・キリスト)横浜教会、(聖公会)首里聖アンデレ教会、(聖書キリスト)のぞみ教会、(単立)大阪中央教会、静岡その枝キリスト教会、

須賀川めぐみキリスト教会、多治見聖書キリスト教会、東浦三一キリスト教会、姫宮聖書教会、(同盟基督)下馬福音教会、(ザレ)浦添ナザレン教会、(日キ教会)大阪姫松教会、静岡池田伝道所、夙川教会日曜学校、湘南教会、聖園教会婦人会 & 日曜学校、西経堂教会、函館相生教会、福岡城南教会、米子伝道所、(日キ教団)芦屋西教会、大台めぐみ教会、隠岐教会、交野教会、鎌倉雪ノ下教会、坂出大浜教会、佐渡教会、静岡教会、静岡一番町教会&こどもの教会、静岡草深教会、島田教会、清水ヶ丘教会、首里教会、駿府教会、田園調布教会、長崎教会、勿来教会、東村山教会、ひばりが丘教会、松代教会、三重教会、箕面教会、森小路教会友愛会、大和キリスト教会、横浜本郷台教会、静岡中静分区婦人会、(ハプ連盟)日野神明キリスト教会、(福音刊社教会連合)三番通福音キリスト教会、前橋キリスト教会、(福音同盟)下馬福音教会、(福音の群)いわきホームチャペル、(ホリ初)大阪栄光キリスト教会、西落合キリスト教会、(保守ハプ)いしのみなと教会、いわき希望教会、(無教会)浜松聖書集会、(ヨハ連合)ヨハン静岡キリスト教会、(リハバ連盟)姫路シロアムチャーチ、(団体)関西盲人宣教会、関西学院宗教活動委員会、静岡市キリスト教連絡会、静岡県県信徒会、聖書友の会、超教派キリスト教視覚障害者友の会、B.F.P.Japan (改革派)青葉台キリスト教会&オリーブの会、青森教会、芦屋教会、厚木教会&教会学校、伊丹教会、板宿教会、稲毛海岸教会、犬山教会&兄弟会&姉妹会、上野緑ヶ丘教会、江古田教会&婦人会&こどもの教会、恵那キリスト教会、大垣教会、大阪教会執事会、太田教会、大宮教会&教会学校、大屋教会、岡山教会、岡山西教会、男山教会、尾張旭教会 & 姉妹会、春日井教会サフラン会、勝田台教会&女性会、金沢教会、上諏訪湖畔教会、上福岡教会、川越教会、北中山教会、北沼津キリスト教会、岐阜加納教会&婦人会、桑名教会婦人会、恵泉教会&婦人会、甲子園教会、高蔵寺教会、高知教会、神戸長田教会、湖北台教会&教会学校、堺みくに教会、坂出飯山教会&婦人会、坂戸教会&婦人会、佐久教会、札幌教会、滋賀摂理教会、静岡教会&婦人会、湘南恩寵教会&日曜学校、新浦安教会ぶどうの木教会 & 日曜学校、神港教会&婦人会&聖書学校、新所沢教会、宿毛教会婦人会、鈴蘭台教会、西神教会、関キリスト教会&姉妹会、せんげん台教会、仙台教会、仙台栄光教会、仙台カナン教会、仙台めぐみ教会、善通寺教会&男性会、千里摂理教会、千里山教会&婦人会、草加松原教会、園田教会、高松教会、高松東教会、宝塚教会&聖書学校、多治見教会&婦人会、千城台教会女性の会、秩父教会、銚子栄光教会、津島教会、綱島教会&婦人会&日曜学校、東京教会、東京恩寵教会執事会&日曜学校、徳島教会、徳島西部教会、所沢ニューライフ教会、豊明教会、那加教会&婦人会、長丘教会教会学校、長野教会、名古屋教会姉妹会、名古屋岩の上教会、灘教会&婦人会、新座志木教会、新潟教会、西鎌倉教会、西谷教会、八戸教会、花小金井教会&婦人会、花見川キリスト教会、羽生栄光教会&教会学校、浜松教会、東川口教会、東仙台教会&CS、東広島教会、ひたちなか教会、広島教会&婦人会、船橋高根教会&女性の会、松戸小金原教会&アネモネ会、松山教会&婦人会、三郷教会、瑞浪教会&婦人会、南浦和教会、南越谷コイノニア教会、南与力町教会、盛岡教会、八事教会、山形教会、山梨栄光教会&教会学校、山本教会婦人会、横浜教会 & 教会学校、横浜中央教会、四日市教会、六戸教会、和歌山教会、亘理教会 & のぞみ幼稚園、神戸改革派神学校学生会、北四国連合婦人会、中部中会長老会、中部中会執事活動委員会、中部中会連合婦人会、中部中会信徒修養会、静岡盲婦人ホーム

静岡キリスト教盲人伝道センター 点字図書館ご利用案内

1. 開館時間

- ・開館時間
月曜～金曜 午前9時から午後5時
＊時間外は留守電・faxまたはeメールで受け付けています。

2. 貸し出しについて

- ① 対象者
 - ・視覚障害者手帳をお持ちの方
 - ・文字での読書が困難な方
(高齢・病・その他の障がいのため)

＊日本全国が貸し出し対象です。
(インターネットでは海外も可)
＊郵送またはネット送信でご利用できます。

② 費用

- ・利用登録は無料です。
- ・視覚障害者手帳をお持ちでない方は、郵送料が自己負担になります。

③ 貸し出し期間

- ・ご自宅に届いてから1か月以内
- ・点字月刊誌は一週間以内

3. その他

- ・新製作図書情報「センター通信」(季刊)をご希望の方にお送りします。

＊事業運営のため、お祈りと献金をお願いいたします。

視覚障がいとキリスト教点字図書館について

◆**視覚障がい者の読書とキリスト教点字図書館** ◆視覚による情報を受けることの出来ない方にとって、活字の出版物がどんなに溢れていても、それが点字や音声等によらなければ読むことができません。従って視覚障がい者の読書は点字図書館が重要な役割を担っています。国内には一般図書を供えた公共の点字図書館は各地にあります。当館はキリスト教図書専門の点字図書館です。

◆**当点字図書館の特長** ◆当館は、一般図書館と次のような違いがあります。①キリスト教の良書を選定し、点字と音声に変換して図書を製作し所蔵する。②視覚障がい読者へ郵送による貸出しを行う。③これらの働きは職員のみならず、ボランティアの力が大いに必要です。ボランティア募集や育成は点字図書館の重要な仕事となります。

◆**視覚障がい者への福音宣教に仕えるため** ◆一冊の活字書から点字書・音声図書になるまでには、多くの時間と労苦により完成します。これらすべての活動は、盲人信徒・求道者の聖書の学び、信仰の集い、伝道、教会のグループ研究のためのテキストの提供、盲人牧師・神学生・教会役員の方々の学習や研究等、純粋に福音宣教に用いていただくために、公的援助を受けずに、宗教法人組織で運営しています。

皆さま方の深いご理解、お祈り、温かいご支援を心からお願いいたします。

点訳・音訳などセンターの働きに関心を持たれた方は、遠慮なくお問い合わせ下さい。



ご支援ください

当センターの活動は伝道を目的とすることから、公的援助を受けないで、全て皆様からの尊いご支援により支えられています。点字図書・音訳図書制作、ボランティア育成のための研修費、維持費（人件費）などに用いられます。

事業維持のため、維持会員として、この働きをお支えください。

維持献金：月に一口100円から、ご自由に設定ください。

送金方法：郵便振替と、

ご指定口座から引き落としを行う「ワイドネット」がご利用
できます。

（三菱UFJファクターが引き落とし代行を行います）

*詳しくは、当センターへお問い合わせください。

維持献金のほかに、自由献金も常時受け付けています。

覚えてご協力いただければ感謝です。

郵便振替：00870-2-7003

口座名義：静岡キリスト教盲人伝道センター

ボランティアを募集しています

- ① 音訳
- ② デイジー編集
- ③ テキストデイジー編集
- ④ テキスト校正
- ⑤ 点訳

*初心者の方には通信講座があります。いつでもお問い合わせください。

ご自宅のパソコンで作業できます

作業ソフトは無料で貸与いたします。音訳のみマイクや調整機器が必要です。

ご希望があれば研修会も検討しますのでお知らせください。

超教派の働きです

超教派のキリスト教図書製作をしています。主の恵みを共に喜び、学びや気づきが与えられます。